

この力が解けたら
覚悟しておくんだな

自分が何をしたかを、
しっかりと理解させてやる

はあ...
はあ...

(こんな奴に
体の自由を奪われるとは...)

ふふ、そのザマで何を言われようが
何とも思わないな

お前を犯し、
「俺の女」にできると思うと...

今日という日を
待った甲斐があったぜ

下衆め...

ほら、股を開いて
自分で挿入れみる

(うっ…、くそっ…!)

(なんで…
逆らえないんだ…!)

はは、いいザマだぜ

あのルシファーがこんな下品な格好で
ち○こに跨ってるんだからな

貴様……!!

必ず、
生まれたことを後悔させてやるぞ……!!

ハハ...

かおっ

おっ

今のお前じゃ
俺の命令には逆らえないんだよ。

それに…

しっかりとそっちも
準備できてんじやねえか

黙れっ……!!

ぐ…

トロ…

モワァッ

(と、止まれ……！)

(このままだと本当に……
挿入^{はい}ってしまう……！)

おいおい、
いつまで待たせるんだ

おい、
「はやく入れろ」

なっ…ああっっ!

ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン

ズン
ズン



あっ……ああ……っ！

ついに自分から挿入れちゃったな

これでお前も立派な売女だ

ここからが本番だ　まずは

「自分で腰を動かして

気持ち良くさせろ」

うっ……くそお……

こんな汚いものを私の中に……

はは、必死に腰を振ってやがる

そんなに奉仕したかったのかよ

黙れ！

こんなもの、貴様が命令しているからだろう



(なんなんだこの強制力は…
意思とは無関係に体が動く…!)

ああ、そういえば言い忘れていたが

今日はお前を孕ませるって決めてるからな

そのつもりで奉仕しろよ

なっ…孕っ…!?

そうだ、お前はもう

「俺の女」になることが決定してるからな

そのためにも

「もつと激しくち〇こをシゴけ」

うっ…ああっ…

あっ…

そんな…

腰が勝手にっ…



おう、それでいい

さっきより更に気持ち良くなったぞ

さて、お前もだいぶ

体が火照ってきたらどう?

(……っ?)



アッ...

ハッ

おい、
「両腕を上げろ」

は...?

腕だと...

なにを突然...

なつ……!?

お、おい、見……つ、
顔を近付けるな!

ち○ぽに効く雌臭させやがって
さつきから部屋中に広がってるんだよ

おいおい、汗で服が貼りついてるじゃねえか
しかもこの臭い……

……

腋の臭いで興奮するなど…
救いようのない変態だな

男を興奮させるような臭いを
撒き散らしておきながらよく言うじゃねえか

この臭いを嗅ぎながらなら
かなり濃いやつが出そうだな

この売女がつ、
興奮して腰が止まんねえ

オラっ、ち○ぽで子宮口まで潰されて

気持ち良いかよ

うぐっ、こんなの…
気持ち悪いだけだ…

(まずい…早く離れないと…!)

(このままでは…っ)

ひうつ…!?

な、なにをっ…

腋汗をこんなに垂らしやがって
俺が全部吸い取ってやる

……っっ!?



感謝しろ、お前の
汗くせえ腋舐めながら申出ししてやるぞ

やっ…めろ…
せ、せめて外に出せ…っ！

オラっ、出すぞ！
「ま〇こ締めて精液絞り出せ！」





しっかりと吸い付いてきやがって
そんなに申出ししてほしかったのか

はぁ

はぁはぁはぁ

ぐぐ

ぐぐ

き、キサ……マ……！

許さ……な……！

まだ一発目だぞ。

オラっ雌豚、キスしてやるから「舌を出せ」

(くそっ……この汚物め……
この催眠さえ……解ければ……)

お前の体臭でまた勃たつてきちまった。
確実に孕むままで中出ししてやるから、

覚悟しとけよ

その後、妊娠確定となるまで
数日間犯され続けるルシファアーだった。

数ヶ月後……

洗わずにお前が履き続けたこの靴、
さすがにすごい臭いになってきたな

……っ。

…相変わらず最低なゴミだな、貴様は



スウー……

お前のくっせえ靴を嗅ぎながら
ち○ぽシゴかせるのは最高だな

チツ、異常者め。

お前のような人間は

一秒でも早く消え去るべきだと言うのに。

腹ん中の子も順調に育ってるな。
今の姿をかつての仲間が見たらなんて言うかな。

……。

おい、いつものやつだ

うっ…

んっ…、ひどい臭いだ…
こんなこと
いつまでさせるつもりなんだ

腹のガキが生まれたらまた孕ませてやる。
飽きるまでは抱いてやるから、安心しろよ。

……○